

## 「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準」について

### 趣旨

「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準」(改善基準告示)は、バス、トラック、タクシーなどの自動車運転者について、労働時間等の労働条件の向上を図るため、その業務の特性から、すべての産業に適用される労働基準法では規制が難しい拘束時間(始業時刻から終業時刻までの時間(休憩時間を含む。))、休息期間(勤務と次の勤務の間の自由な時間)、運転時間等の基準を、平成元年に、大臣告示として制定。

### 制定の経緯

労働時間等の改善を定めた局長通達の策定(昭和42年)



中央労働基準審議会での関係労使の議論

- ・長時間労働、交通事故の増加
- ・路面運送における労働時間及び休息期間に関するILO条約の採択(昭和54年):運転時間上限1日9時間、1週間48時間



通達を大臣告示とすることで労使が合意し、平成元年に「改善基準告示」を策定

拘束時間、休息期間等の基準を定めた局長通達の策定(昭和54年)

※ 制定以降、法定労働時間が段階的に短縮し、週40時間制へ移行するのに合わせて、内容の見直しが行われ現在に至っている。

### 内容

拘束時間	総拘束時間	トラック : 原則 1ヶ月 293時間 バス : 原則 4週間平均で1週間 65時間 タクシー : 原則 1ヶ月 299時間
	最大拘束時間	トラック、バス、タクシー : 原則 1日 16時間 (ただし、1日の原則的な拘束時間は13時間)
休息期間	トラック、バス、タクシー : 原則 繼続8時間以上	
最大運転時間	トラック : 原則 2日平均で1日9時間、2週間平均で1週間44時間 バス : 原則 2日平均で1日9時間、4週間平均で1週間40時間	
連続運転時間	トラック、バス : 4時間以内 運転の中断には、運転開始後4時間以内又は4時間経過直後に、1回連続10分以上かつ合計30分以上の運転をしない時間が必要。	
休日労働	トラック、タクシー : 2週間に1回以内、 かつ、1ヶ月の拘束時間及び最大拘束時間の範囲内 バス : 2週間に1回以内、 かつ、4週間の拘束時間及び最大拘束時間の範囲内	

・拘束時間＝始業時刻から終業時刻までの時間(休憩時間を含む。)

・休息期間＝勤務と次の勤務の間の自由な時間

※ その他、拘束時間の例外や分割休息期間、2人乗務、隔日勤務、フェリー乗船などの場合の特例有り。